

# 1 巨大な墳丘

この古墳群の最大の特徴は、墳丘長200mを超える巨大な前方後円墳が7基も含まれることだ。群内最大の応神天皇陵古墳は、仁徳天皇陵古墳に次ぐ国内第2位425m、破格の規模を誇る。古市古墳群と百舌鳥古墳群では、日本の巨大古墳ベスト10のうち半数が築かれた。



応神天皇陵古墳



津堂城山古墳



允恭天皇陵古墳



白鳥陵古墳



仲姫命陵古墳



墓山古墳



仲哀天皇陵古墳

# 2 入念で規格的な古墳づくり

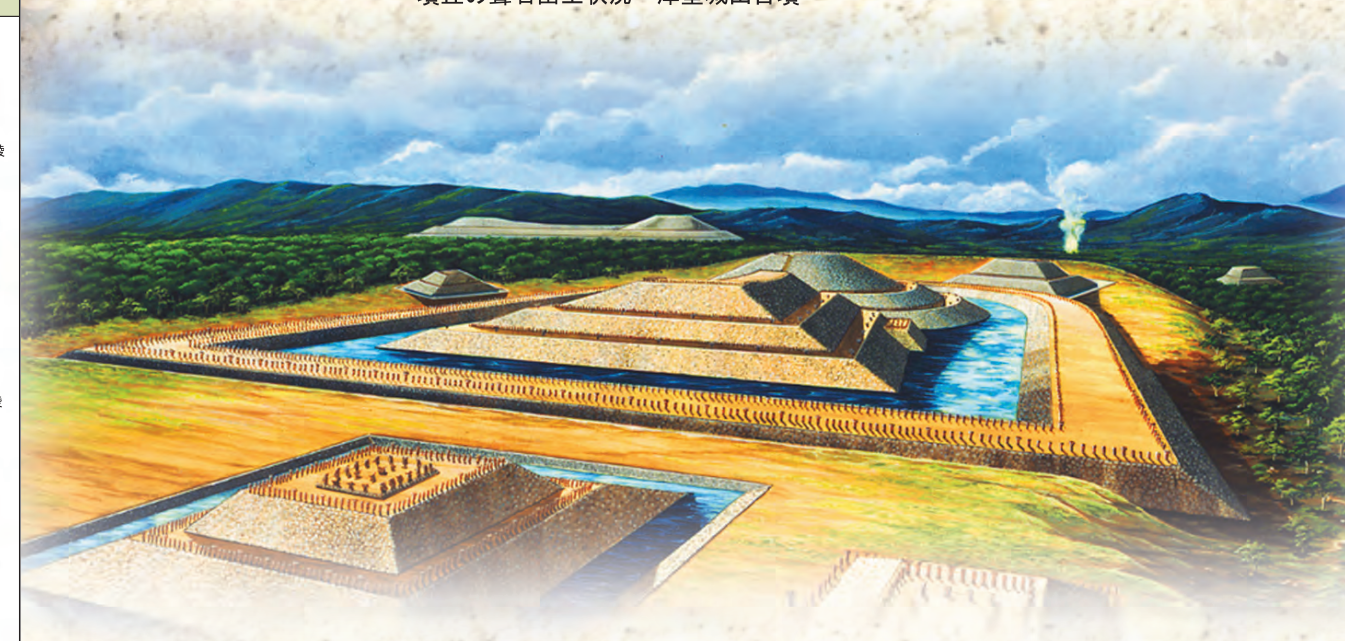
巨大古墳は、設計図に基づき、正確に施工された。これを主導したのが土師氏とよばれる土木技術者集団だった。出来上がった古墳の斜面は葦石に覆われ、遠目には石の山のように映った。また、堅固な葦石は墳丘を雨水による崩壊から1600年以上も護り抜いた。

地域 年代	古市古墳群	百舌鳥古墳群	佐紀古墳群	その他の地域	古墳の類型
400年	仲姫命陵古墳	履中天皇陵古墳	コナベ古墳	神楽命陵 履中天皇陵 4・5	仲姫命陵古墳
450年	墓山古墳	御前山古墳	山山古墳	花林天皇陵 墓山 2・1	花林天皇陵古墳
	応神天皇陵古墳	仁徳天皇陵古墳	長尾 雲部車塚古墳	長尾 雲部車塚古墳 1・1	長尾 雲部車塚古墳
500年	允恭天皇陵古墳	仁徳天皇陵古墳	クワナベ古墳	仁徳天皇陵 クワナベ 2・1	仁徳天皇陵古墳
	白鳥陵古墳	ニサンザイ古墳	白鳥陵 二サンザイ 2・3	白鳥陵 二サンザイ 2・3	白鳥陵古墳
	仲哀天皇陵古墳	仲哀天皇陵古墳	仲哀天皇陵古墳	仲哀天皇陵古墳	仲哀天皇陵古墳

5世紀の巨大古墳の類型と変遷



墳丘の葦石出土状況 津堂城山古墳



# 3 巨大で多彩な形象埴輪

巨大な古墳の墳頂や造出しは、多彩で巨大な形象埴輪で飾られた。この時期に出現した動物や人物形埴輪には、造形的にも優れた作品が生み出された。また、応神天皇陵古墳に樹立する埴輪の大量需要への対処として、登窯による効率的な埴輪生産方式が導入された。



盾形埴輪集合 軽里4号墳



導水施設を模した埴輪 狼塚古墳



猪形埴輪 青山4号墳 [大阪府教育委員会]



人物埴輪 墓山古墳 [大阪府教育委員会]



水鳥形埴輪(重文) 津堂城山古墳



船形埴輪 岡古墳



衣蓋形埴輪 津堂城山古墳



馬骨出土状況 薮屋北遺跡 [大阪府教育委員会]



長持形石棺 津堂城山古墳 [大阪府教育委員会]



胄と挂甲 長持山古墳 [京都大学総合博物館]

甲冑出土状況 野中古墳 [大阪大学]



巴形銅器 津堂城山古墳 [宮内庁]



鉄製武器出土状況 アリ山古墳 [大阪大学]



鉄製武器・農具出土状況 西墓山古墳

# 4 鉄製品の多量副葬

巨大古墳は、鉄製の甲冑や刀剣類といった武器・武具、鋤・鍬先といった農具、斧やヤリガンナといった工具類を多量に副葬した陪家を伴っている。当時、貴重な鉄製品を惜しげもなく副葬する行為は、手工業生産力の増進を背景にした大王の実力を物語る。

# 5 国際色豊かな副葬品

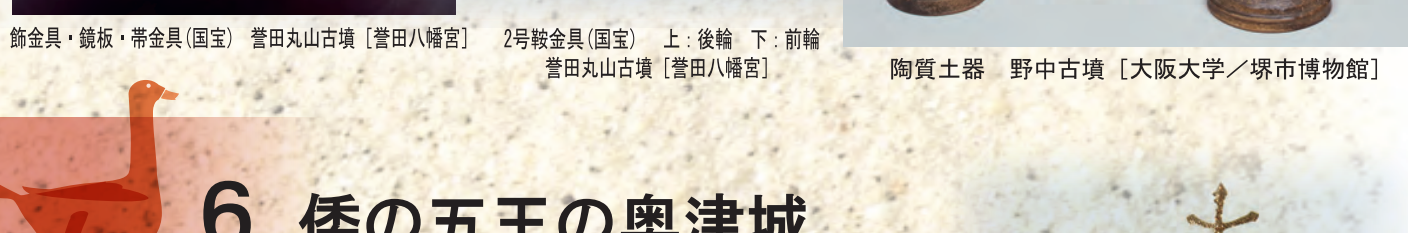
群内の古墳から出土した副葬品には、大陸から輸入された優れた工芸品が見られる。副葬品の主役は、それまでの鏡や石製腕飾りから国際色豊かな金銀製品に移り変わった。呪術品から世俗的な奢侈品への変化は、大王の趣向と政治姿勢を読み取ることができる。



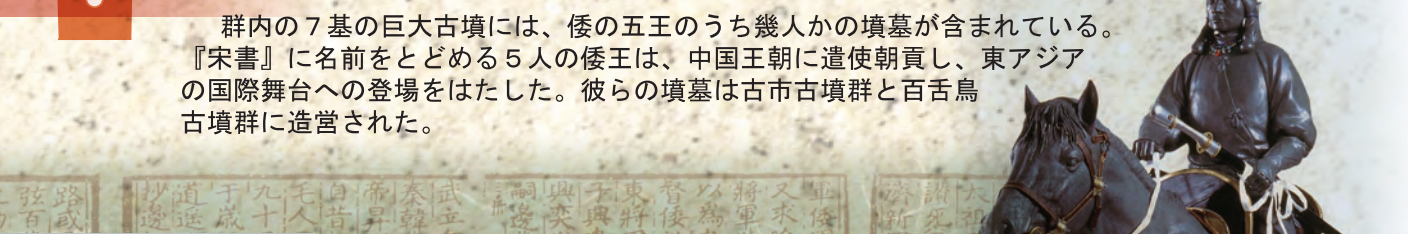
左上:魚佩 左下:垂飾 右:三叉形垂飾 峯ヶ塚古墳



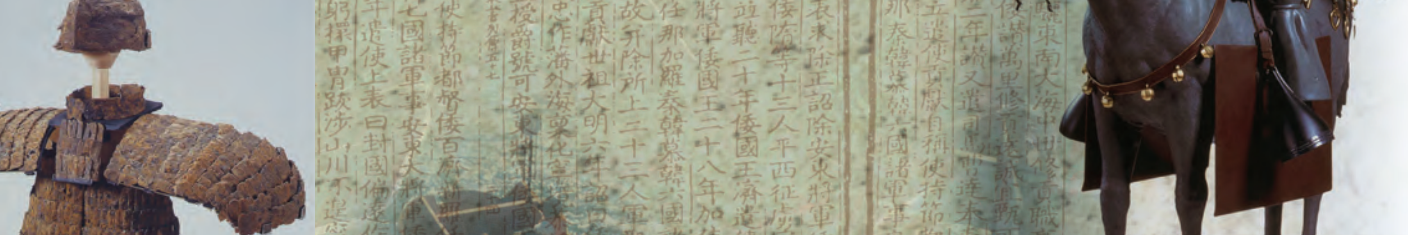
ガラス碗(重文) 安閑天皇陵古墳 [東京国立博物館]



飾金具・鏡板・帯金具(国宝) 菅田丸山古墳 [菅田八幡宮]



2号袴金具(国宝) 上:後輪 下:前輪 菅田丸山古墳 [菅田八幡宮]



陶質土器 野中古墳 [大阪大学/堺市博物館]

# 6 倭の五王の奥津城

群内の7基の巨大古墳には、倭の五王のうち幾人かの墳墓が含まれている。『宋書』に名前をとどめる5人の倭王は、中国王朝に遣使朝貢し、東アジアの国際舞台への登場をはたした。彼らの墳墓は古市古墳群と百舌鳥古墳群に造営された。



馬骨出土状況 薮屋北遺跡 [大阪府教育委員会]



胄と挂甲 長持山古墳 [京都大学総合博物館]



馬上の大首長像 [鳥取県立博物館]



復元された準備造船 [財]大阪市文化財協会